

令和7年度 課の運営方針書

教育部 中央図書館

1 課の運営方針

【課の使命】

中央図書館、新南陽図書館、福川図書館、熊毛図書館、鹿野図書館は、それぞれの地域の「知の拠点」として、地域の読書活動・生涯学習活動の支援を行うとともに、地域の情報拠点としての役割を果たします。また徳山駅前図書館は、気軽にくつろぎながら本を手にとることができる読書の入口「知の広場」として、「賑わいと交流の場」の創出を図ります。

【課の目標】

- ① 読書普及啓発活動の推進
「第四次周南市子ども読書活動推進計画」に則り、こどもが読書に親しむことができる環境整備を推進します。
- ② 利用者の増
幅広い層に対するサービスを展開することで、利用者の満足する図書館づくりに努め、利用者増をめざします。
- ③ 利用者への的確な対応
職員の資質向上を図ることで、多様化・高度化する利用者のニーズに対応します。
- ④ 生涯学習時代に対応した資料収集
各館の特徴を活かしながら、新鮮で広範囲にわたる資料の収集・充実をめざします。
- ⑤ 図書館施設の整備
安心安全かつ快適な読書環境を提供します。

【行政経営への取組み】

限りある予算の中で、利用者のニーズに応えられるように、新鮮で広範囲にわたる資料収集に努めるとともに、長期的に施設を維持できるよう、効率的かつ効果的な方策を進めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(管理担当)図書館の管理運営に関すること
(普及担当)図書館サービス、資料選択に関すること
(新南陽図書館)(福川図書館)(熊毛図書館)(鹿野図書館)地域の「知の拠点」としての図書館サービスに関すること
(徳山駅前図書館)「知の広場」としての図書館サービス、「賑わいと交流の場」の創出を図ること

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	40 人	うち	正職員	13 人	・	会計年度 任用職員	27 人	人件費	正職員	94,510 千円	会計年度 任用職員	94,117 千円
-----	------	----	-----	------	---	--------------	------	-----	-----	-----------	--------------	-----------

※R5職員平均給与(7,270 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	37,463 千円	歳出予算額	337,327 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	6 事業
-------	-----------	-------	------------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	2 教育・こども 3 生涯学習の充実 4 図書館サービスの充実	○誰もが利用しやすく親しみの持てる図書館サービスを提供します。 ○電子図書館サービスを充実させ、市民の読書の機会を増やすとともに、市民の情報センターとしても活用します。 ○ こどもの読書活動を推進するために、社会全体で連携を図りながら、こどもが読書に親しむことができる環境整備を進めます。